

報道関係者各位

2011年5月25日(水)



ESRI ジャパン株式会社
プレスリリース

■■■ 第7回 GIS コミュニティフォーラムを東京ミッドタウンにて開催 ■■■

GIS(地理情報システム)ソフトウェア国内最大手の ESRI ジャパン株式会社(※1)(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:正木千陽、資本金:5千万円、以下 ESRI ジャパン)は、GIS 利用の促進とユーザ間の情報交換を目的とした、『第7回 GIS コミュニティフォーラム(6月2日・3日)』(参加無料・事前登録制)を東京ミッドタウンにて開催すると発表しました。

※1 テクノシステムリサーチ調べ

■基調講演

<6月2日(木) 10:40-12:20>

「多様性は未来の可能性」

財団法人 C.W.ニコル・アフアの森財団 理事長 C.W.ニコル 氏

「GIS for Communities」

米国 Esri 社 リージョナルマネジャー兼ナショナルパブリックセーフティセールスマネジャー
Nate Johnson 氏

<6月3日(金) 13:30-15:10>

「初等中等教育における GIS 活用と期待される成果」

文部科学省 副大臣 鈴木 寛 氏

「ユビキタス ID アーキテクチャとユビキタス場所情報基盤」

東京大学大学院 情報学環 教授 坂村 健 氏

■「東日本大震災対応経過報告」～防災 GIS ワークショップ 6月2日(木)13:30-18:30

津波被害状況把握、放射性物質拡散予測、店舗の被害状況把握、ライフラインの復旧支援、自治体により災証明発行や復興計画、地域医療支援、ボランティアのための情報共有システム等、GISは復興・復旧活動の様々な局面で活用され、大きな注目を集めています。東北地方太平洋沖地震地図作成チーム(EMT=Emergency Mapping Team)の活動紹介の他、最前線で復旧・復興支援活動に携わる各分野の専門家より、震災対応の経過報告を発表します。

■クラウド・環境・生物多様性、新エネルギー、農業、自治体

～分野別ソリューションワークショップ 6月2日(木)、3日(金)

ArcGISはGIS製品の中でも汎用性の高さを強みとしています。環境・生物多様性、新エネルギー、農業、自治体等、現在日本が抱える課題をテーマに、各分野の最前線で活躍されている方を講演者としてお招きし、GIS活用の可能性とその効果について紹介します。

■ユーザによる GIS 活用事例発表～GIS 活用のアイデアとノウハウの宝庫

GIS 活用事例発表では、GIS を先進的かつ効果的に利用しているユーザに焦点をあて、日々の研究や業務、プロジェクトに取り組む中で生まれたアイデアや、その中で培われた経験についてユーザの視点から取り上げます。

- 【名称】 第7回 GIS コミュニティフォーラム
- 【会期】 2011年6月2日(木)・3日(金)/プレカンファレンス・セミナー1日(水)
- 【会場】 東京ミッドタウン ホール&カンファレンス (東京都港区赤坂9-7-2)
- 【主催】 ESRI ジャパンユーザ会
- 【後援】 GITA-JAPAN、一般社団法人 地理情報システム学会、デジタルアース日本学会
日本国際地図学会、社団法人 日本写真測量学会、社団法人 日本リモートセンシング学会 (50音順)
- 【事務局】 ESRI ジャパンユーザ会事務局 (ESRI ジャパン株式会社社内)
Tel: 03-3222-3941 E-mail: forum@esrij.com
- 【URL】 <http://www.esrij.com>
- 【入場料】 無料・事前登録制

■ ESRI ジャパン株式会社について

商号:ESRI ジャパン株式会社

設立:2002年(平成14年)4月1日

代表者:代表取締役社長 正木 千陽

主な事業内容:GIS ソフトウェアの販売、及び関連サービス(保守、トレーニング、コンサルティングサービス)の提供

本社所在地:〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-1 塩崎ビル

Tel: 03-3222-3941 Fax: 03-3222-3946

ESRI ジャパンホームページ: <http://www.esrij.com/>

米国 ESRI 社ホームページ: <http://www.esri.com/>

■ この件に関する問合せ先:

ESRI ジャパン株式会社

Tel: 03-3222-3941 Fax: 03-3222-3946 E-mail: gisinfo@esrij.com
